

C-9 染色の物理化学的考察 (第3報)

—尿素系直接染料による

纖維素染色における助剤の影響—

金城学院大学 藤田千勢・尾関友子・市村昭二

筆者等は直接染料による纖維素の染色における染色条件の影響を染色過程の物理化学的数値の測定によって考察して来た(第1報日本家政学会中部支部第1回例会; 第2報同第2回総会)物理化学的数値としては平衡染着量, 染着速度, 染着等温式, 標準化学ポテンシャル差, 染料・纖維結合体の解離エネルギー, 活性化エネルギー, 染色エントロピー等について検討して来た。本報告は以上の物理化学的数値が助剤の濃度種類によってどのように変化するかを実験したのでその結果を発表する。染料は保土ヶ谷化学 K.K. の尿素系の Benzo Fast Orange S と Yellow 5 G を用い, 纖維は大和紡のものを用了。助剤はモノゲン, ノイゲン HC, HN, 等を用いた。